

放射線科治療リニアックリニューアル
各診療科部長よりコメント

認知症ケアチーム紹介

Introduction 登録医のご紹介
音花クリニック
医療法人にゆうわ会 及川病院

謹賀新年

表紙：福岡市初日の出

Cross Heart

新年のご挨拶

あさくら産直マルシェ再会

『地域づくり・未来世代』応援プロジェクト

福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○新患及び再来 ●予約のみ ▲午後再来(予約のみ) ※再来は原則予約制です

令和5年1月1日現在

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
総合診療科	川本 徹	○	○	○	○	○	内科一般	副部長
	総診当番医①	○	○	○	○	○	※当番医・内科系医師による交番制	
	総診当番医②	○	○	○	○	○		
消化器内科	青柳 邦彦	○	▲	○	○	○	消化管 (食道・胃・小腸・大腸)	副院長
	平川 克哉	○	○	▲	○	○		副院長
	工藤 哲司	○	▲	○	○	○		副院長
	野村 亜貴子	○	▲	○	○	○		
	和智 博信	▲	○	○	○	○		
	西田 美沙子	○	○	○	○	▲		
腎臓内科	徳本 正憲	▲	○	○	○	○	腎臓	部長
	中井 健太郎	○	▲	○	○	○		副部長
	中川 兼康	▲	○	○	○	○		
	原 雅俊	○	○	○	○	○		
糖尿病・代謝・内分泌内科	佐々木 伸浩	○	○	○	○	○	糖尿病、代謝、内分泌、 生活習慣病 ※内分泌新患は火・水・金のみ	部長
	井元 博文	○	○	▲	○	○		副部長
	於久 真由美	●	○	○	○	●		
	原 功哉	○	○	●	○	○		
	東木 孝太	○	○	○	●	○		
	糖尿病担当医	○	○	○	○	○		
循環器内科	向井 靖	○	○	○	○	○	循環器	部長
	松川 龍一	○	○	○	○	▲		副部長
	松浦 広英	○	○	○	○	▲		副部長
	中野 正昭	○	○	○	○	○		
	徳留 正毅	○	○	○	○	○		
	河合 俊輔	○	○	○	○	○		
	岡原 有秀	○	○	○	○	○		
	岡部 浩祐	○	○	○	○	○		
	佐田 政司	○	○	○	○	○		
	木佐貴 洋志	○	○	○	○	○		
呼吸器内科	古山 和人	○	○	○	○	○	呼吸器一般	部長
	木村 信一	○	○	○	○	○		
	大後 徳彦	○	○	○	○	○		
	大塚 優	○	○	○	○	○		
肝臓内科	西澤 新也	○	○	○	○	○	肝疾患一般	部長
	岩下 英之	○	○	○	○	○		副部長
	東 具隆	○	○	○	○	○		
血液・腫瘍内科	徳重 裕陽	○	○	○	○	○	血液疾患一般 固形腫瘍の化学療法	部長
	谷本 一樹	○	○	○	○	○		部長
	平安山 英穂	○	○	○	○	○		副部長
脳神経内科	河野 二郎	○	○	○	○	○	神経一般 脳血管障害(脳卒中)	部長
	次郎丸 高志	○	○	○	○	○		部長
	北山 次郎	○	○	○	○	○		
	緒方 利安	○	○	○	○	○		
	岡田 卓也	○	○	○	○	○		
膠原病内科	井上 靖	○	○	○	○	○	膠原病	部長
	田中 淳	○	○	○	○	○		
	高月 健作	○	○	○	○	○		
	石丸 敬之	○	○	○	○	○		
感染症内科	渡部 暹	○	○	○	○	○	感染症一般 ※金は午後のみ(13時~15時受付)	副院長
	中村 輪杜	○	○	○	○	○		
	中房 祐司	○	○	○	○	○		
	永井 英司	○	○	○	○	○		
	本山 健太郎	○	○	○	○	○		
	小島 雅之	○	○	○	○	○		
	上田 純二	○	○	○	○	○		
	井上 重隆	○	○	○	○	○		
	小倉 康裕	○	○	○	○	○		
	三好 圭	○	○	○	○	○		
外科	亀田 千津	○	○	○	○	○	消化器外科、乳腺外科	部長
	安井 隆晴	○	○	○	○	○	消化器外科	部長
	寺坂 壮史	○	○	○	○	○	呼吸器外科	部長
	松田 圭史	○	○	○	○	○	消化器外科、肝胆脾外科	部長
	服部 正見	○	○	○	○	○	消化器外科	部長
	小倉 康裕	○	○	○	○	○	消化器外科、肝胆脾外科	部長
	三好 圭	○	○	○	○	○	呼吸器外科	部長
	亀田 千津	○	○	○	○	○	消化器外科	部長
	安井 隆晴	○	○	○	○	○	消化器外科	部長
	寺坂 壮史	○	○	○	○	○	呼吸器外科	部長
	松田 圭史	○	○	○	○	○	消化器外科、肝胆脾外科	部長
	服部 正見	○	○	○	○	○	消化器外科	部長
	小倉 康裕	○	○	○	○	○	消化器外科、肝胆脾外科	部長
	三好 圭	○	○	○	○	○	呼吸器外科	部長
	亀田 千津	○	○	○	○	○	消化器外科	部長
心臓血管外科	小江 雅弘	○	○	○	○	○	心臓外科、大動脈瘤 血管外科 ※火・木のみ	部長
	恩塚 龍士	○	○	○	○	○		副部長
	松本 崇聡	○	○	○	○	○		部長
脳神経外科	松本 崇聡	○	○	○	○	○	脳腫瘍	部長
	三浦 晴香	○	○	○	○	○	脳腫瘍	部長
	清水 透	○	○	○	○	○	脳腫瘍	部長
	山崎 章生	○	○	○	○	○	脳腫瘍	部長

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
皮膚科	竹下 弘道	○	○	○	○	○	一般、尋常性乾癬 アトピー性皮膚炎 ※月・火は10時まで、再診は完全予約制	部長
	木村 七絵	○	○	○	○	○		副部長
眼科	山口 宗男	○	○	○	○	○	糖尿病性網膜症 白内障、緑内障 ※火・木は10時まで	副部長
	天野 佑理	○	○	○	○	○		
整形外科	非常勤	○	○	○	○	○		
	泊 真二	○	○	○	○	○	脊椎・脊髄外科 関節外科	副院長
	池村 聡	○	○	○	○	○		部長
	加藤 剛	○	○	○	○	○	脊椎・脊髄外科	部長
	由布 竜矢	○	○	○	○	○	膝関節・脊髄外科・一般	部長
	安原 隆寛	○	○	○	○	○	手の外科・外傷・一般	部長
産婦人科	中尾 佑貴	○	○	○	○	○		
	金江 剛	○	○	○	○	○	外傷・一般 ※木は10時まで、火は手術日です	
	笹栗 慎太郎	○	○	○	○	○		
	西田 悟	○	○	○	○	○		
	西田 真 婦	○	○	○	○	○	産科	部長
	遠城 幸子	○	○	○	○	○	産科	部長
	松本 恵	○	○	○	○	○	産科	
	濱崎 洋一郎	○	○	○	○	○	産科	
	友延 寛	○	○	○	○	○	産科	
	中村 友里恵	○	○	○	○	○	産科	
小児科	田中 大智	○	○	○	○	○	周産期 悪性腫瘍、良性腫瘍 腹腔鏡手術 ※火・木は10時まで	部長
	古賀 万里子	○	○	○	○	○		副部長
	野田 龍之介	○	○	○	○	○		
	野田 龍之介	○	○	○	○	○		
	野田 龍之介	○	○	○	○	○		
	野田 龍之介	○	○	○	○	○		
	野田 龍之介	○	○	○	○	○		
	野田 龍之介	○	○	○	○	○		
	野田 龍之介	○	○	○	○	○		
	野田 龍之介	○	○	○	○	○		
耳鼻咽喉科	波多江 健	○	○	○	○	○	腎疾患 新生児 循環器	部長
	長友 太郎	○	○	○	○	○		部長
	山口 賢一郎	○	○	○	○	○		副部長
	小野山さか	○	○	○	○	○		副部長
形成外科	鷲尾 真美	○	○	○	○	○	一般、腎疾患	
	米元 耕輔	○	○	○	○	○	神経	
	泊 由里子	○	○	○	○	○	一般	
	非常勤	○	○	○	○	○	神経 ※予約制、午前中のみ	
	非常勤	○	○	○	○	○	循環器 ※予約制、午後のみ	
	若崎 高裕	○	○	○	○	○	頭頸部腫瘍・耳鼻科一般 ※火・水は13:50~	部長
泌尿器科	高岩 一貴	○	○	○	○	○	耳科学 耳鼻科一般 ※火・水は受付10時まで ※火・金は紹介患者のみ ※緊急時はご対応いたします	副部長
	藤村 晶子	○	○	○	○	○	耳鼻科一般	
	高良 佳江	○	○	○	○	○		
	李 庸學	○	○	○	○	○		
泌尿器科	前場 崇宏	○	○	○	○	○	再建外科・皮膚軟部腫瘍 先天性疾患、顔面外科	部長
	清島 圭二郎	○	○	○	○	○	尿路結石 排尿機能障害 尿路感染症 尿路器腫瘍 腹腔鏡手術 ロボット手術	部長
	秋武 正和	○	○	○	○	○		副部長
精神科	中村 暢孝	○	○	○	○	○		
	高山 梓	○	○	○	○	○		
	古賀 俊輝	○	○	○	○	○		
歯科・歯科口腔外科	非常勤	○	○	○	○	○		
	芝田 寿美男	○	○	○	○	○	一般、行動療法、強迫性障害 ※完全予約制、火・水・金のみ新患も診療 ※水・木は受付10時まで	部長
	非常勤	○	○	○	○	○		
放射線科(診断)	伊東 美穂	○	○	○	○	○	一般歯科、口腔外科 ※再診は完全予約制	部長
	川島 万由	○	○	○	○	○		副部長
	松尾 芳雄	○	○	○	○	○		
放射線科(治療)	小森 哲士	○	○	○	○	○		
	新堀 裕子	○	○	○	○	○	検査依頼(CT・MRI・R1等)のみ 電話予約制	部長
	高瀬 華恵	○	○	○	○	○		
麻酔科	安部 時子	○	○	○	○	○		
	奈須 光佑	○	○	○	○	○		
	木村 正彦	○	○	○	○	○	放射線治療	部長
病理解剖科	非常勤	○	○	○	○	○		
	生野 慎二郎	○	○	○	○	○		部長
	迎 雅彦	○	○	○	○	○		部長
検査部	中西 洋太郎	○	○	○	○	○		
	落合 晋	○	○	○	○	○		
	石田 祐貴	○	○	○	○	○		
救急科	大草 超	○	○	○	○	○		
	野口 里菜	○	○	○	○	○		
	菅原 辰暢	○	○	○	○	○		
健診部	大西 七絵	○	○	○	○	○		
	西山 憲一	○	○	○	○	○	人体病理一般	部長
	峰 真理	○	○	○	○	○	検体検査管理	副部長
救急科	友尻 茂樹	○	○	○	○	○	救急(各種中毒疾患含む)	部長
	荒武 恵司	○	○	○	○	○		副部長
	嵩川 雄輝	○	○	○	○	○		副部長
健診部	山崎 玲子	○	○	○	○	○		
	大坪 俊夫	○	○	○	○	○	人間ドック・健康診断	部長

●受付時間 8時10分~11時00分 (診療開始 8時40分)

※診療科の備考欄に特に記載のない場合に限りです。

●急患診療体制

※救急車や医療機関からの紹介患者の受け入れは、24時間体制で対応いたします。

科別	曜日	時間
内科系	平日	17時00分~23時00分
	土・日・祝日	8時30分~23時00分
小児科	平日(祝日除く)	17時00分~19時30分
	土(祝日除く)	9時00分~17時00分

●休診日 土・日・祝・年末年始(12/29~1/3)

※出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。

福岡赤十字病院 広報誌 Cross Heart 2023.1 冬号 vol.54 病院管理者【院長】中房祐司 【副院長】青柳邦彦、清原一、永井英司、石丸敬之、平川克哉 【事務部長】平田秀哉 【看護部長】佐藤幸子 https://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/



福岡赤十字病院 病院の理念 信頼と調和に基づく最良の医療 ~地域を尊重、世界を視野に

基本方針 1. 質の高い安全な医療 2. 救急医療 3. 国内外の医療救援活動 4. 地域連携 5. 教育・研修・研鑽 6. 患者・職員満足度の向上



新年のご挨拶

福岡赤十字病院 院長

中房 祐司



新年明けましておめでとうございます。
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。
新型コロナウイルス感染症(コロナ)の世界的流行が始まって3年が経過しました。日本では第8波までを数える大きな流行が繰り返してきました。今年こそはコロナ禍から脱却して、様々な制限のない以前の日常に戻りたいものです。

コロナ流行が始まった当初には十分な情報がなく、ダイヤモンドプリンセス号の集団感染や予後不良患者の報道等も加わって、恐怖の感染症として扱われました。感染拡大を抑えるために、緊急事態宣言などの発令で活動自粛が要請されました。2021年夏の第5波(デルタ株)までは重症患者の数も多く、私たちコロナ診療に関わる医療者は厳しい行動制限や感染者の厳重な隔離に対して大きな違和感を感じることはありませんでした。

しかし、2022年初頭からの第6~8波(オミクロン株)になると、感染力は強いものの重症化する患者さんの割合は極めて少なくなりました。国は活動自粛要請の発信をやめ、水際対策も格段に緩和しました。これに合わせて、市民も徐々に行動の制限を緩め、一般社会におけるコロナへの対応が変化してきました。

一方、病院内ではこれまで同様にコロナ感染者の厳重な隔離を継続しています。院内でクラスターが発生すると病棟は閉鎖され、一般診療を大きく制限することになります。市中で感染が拡大すると病院職員の感染や濃厚接触到

よる出勤停止も増加し、一気に医療現場が逼迫してしまいます。このため、病院職員の行動制限や入院患者の面会制限も容易に緩和できません。一般社会と病院の中でのコロナへの接し方のギャップが大きくなり、コロナの法的な扱い(2類感染症相当)に強い違和感を感じるようになってきました。最近になって漸く政権内でもこの点についての議論が本格化してきた印象です。

重症化する患者さんが少なくなったのはコロナ変異株の弱毒化によりですが、ワクチンや治療薬もこれに大きく貢献しているようです。今後、ゾコーバ等の内服薬がインフルエンザにおけるタミフルのような役割を果たすようになると、コロナの法的扱いの変更を後押しすることになると考えられます。この流れでコロナ禍からの脱却につながることを期待しております。

当院は重点医療機関として多数のコロナ患者さんの診療を行ってきました。これからも、一般診療との両立を図りながら、地域に必要な医療提供体制の維持に努めていきます。そして、コロナ禍からの脱却を見据えて、これまで以上に診療内容やサービスを充実させていきたいと考えています。近隣クリニックの先生方としっかりと協力・連携を行い、地域住民の方々に安心頂けるような病院運営をして行く所存です。

本年も皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

令和5年1月吉日



あさくら産直マルシェ



新型コロナのため中止となっていた『あさくら産直マルシェ』が、2022年11月から3年ぶりに再開しました。朝倉から安心・安全の新鮮なお野菜や果物、農産物加工品などが直送されるこのイベントは、患者さんや地域のみなさまに大変好評で、これまで再開を望む声が多く聞かれておりました。

以前は正面玄関前にて行っておりましたが、現在は感染対策を行った上で、院内の中庭にて開催しております。お鍋の季節にピッタリのお野菜や美味しい果物の他に、お味噌や調味料、お餅やスイーツ、雑貨やメダカなど、以前にも増して賑わっています。

毎月第1・第3金曜日の10時から開催しております。是非足をお運びください!

※1月については、13日・27日開催となります。



明治安田生命保険相互会社

『地域づくり・未来世代』 応援プロジェクト



日本赤十字社と明治安田生命保険相互会社は、『地域づくり・未来世代』応援プロジェクト』を共同で展開する包括パートナーシップ協定を結んでいます。その福岡本部の方々から消毒液と当院職員への心温まるメッセージカードを寄贈していただきました。

メッセージカードは当院の本館1階ホスピタルモールに掲示させていただきました。

放射線治療



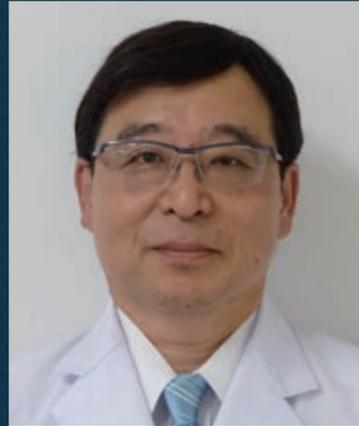
エレクタ社製 最上位機種“VersaHD”

更新し、リニアック室が再稼働しました。
更なる高精度な治療を目指します。

患者様に優しい放射線治療を

先生方から当院にご紹介をいただいた場合に、従来の放射線治療では、機械の性能の問題で、患者様が希望されても、癌の局在によっては、外科的治療や化学療法に移行したり、大学病院やがんセンターに紹介するケースもありました。

今回、高性能な装備を有する放射線治療機械に更新となり、脳や肺への定位的放射線治療も可能となり、更に、短時間で多くの放射線治療線量をピンポイントで投与できることから、患者様の身体的負担が少なくなりました。



第一放射線科部長

木村 正彦

強度変調放射線治療(IMRT)に関しては、施設基準等の問題で、すぐには実施できませんが、IMRTが可能な装備を搭載した高精度な治療機械であり、癌病巣の局所制御の上昇および正常組織に対する有害事象の軽減に寄与できると思われま

放射線治療も、チーム医療です。

当院放射線治療部門も、がん診療連携拠点病院として、充実したスタッフを配備しております。放射線治療を操作する診療放射線技師の中には、3名の品質管理士有資格者、4名の医学物理士有資格者がおり、また、がん放射線療法看護認定看護師1名も、その専門職として対応しております。

今後ともよろしくお願い致します。



各診療科より



第一産婦人科部長
西田 眞

放射線療法は婦人科悪性腫瘍の治療において重要な役割を担っています。なかでも子宮頸癌は放射線感受性が高く、比較的進行した癌であっても、放射線治療単独あるいは抗悪性腫瘍薬との併用(同時化学放射線療法)により完治する可能性があります。その他、子宮頸癌や子宮体癌の術後照射、進行・再発症例に対する緩和照射等も行われます。当院では婦人科と放射線科が定期的に治療カンファレンスを行っており、患者さんに最良の治療を提供できるように心がけています。



呼吸器内科部長
古山 和人

肺がんの治療において、放射線治療はなくてはならない治療法の一つです。早期癌では手術療法に次いで根治的な治療手段であり、手術不能な局所進行癌では、唯一根治が期待できる治療法と位置づけられています。疼痛緩和目的の放射線治療は、患者さんの生活の質を維持するためにも有用であり、また、肺がんの脳転移に対しても良好なコントロールが期待できます。ご高齢の方、体力的にも手術は自信がないという方でも、比較的侵襲で治療ができるため、より幅広い肺がん診療が可能となります。安全面にも十分配慮しながら治療選択を行いますので、よろしくお願い申し上げます。



乳腺外科 乳腺専門医
服部 正見

放射線治療は、乳がん治療において手術療法、薬物療法にならぶ3本柱の一つです。

乳がん術後に残存乳房や領域リンパ節に対して放射線照射を行うことで再発率を低下させることができます。また、進行がんによる痛みや辛い諸症状を緩和することもできます。

当科では放射線治療専門医である木村医師とそれぞれの症例で相談しながら、乳癌に対して集学的治療を行っています。



多職種で構成したチームメンバー

- 精神科医師(1名)
- 脳神経内科医師(2名)
- 認知症看護認定看護師(1名)
- 看護師(3名)
- 社会福祉士(1名)
- 薬剤師(3名)
- 作業療法士(1名)
- 医事課スタッフ(1名)

認知症ケアチームとは？

入院している患者さんの中には、身体疾患の症状やせん妄・認知症の進行、慣れない入院環境などによって、状況の変化に合わせることが難しく、認知症の周辺症状(行動・心理症状)が発現することがあります。2016年9月に認知症ケアチームを立ち上げ、認知症やせん妄のある患者さんが、安心・安全にその人らしく入院治療が継続できるように、多職種でサポートしています。以下の3つのビジョンを掲げ、認知症やせん妄の入院患者さんを対象に活動し、認知症ケアの質向上に取り組んでいます。

- ・「認知症者にとって安心、安全な治療の継続」
- ・「居心地の良い療養環境の提供」
- ・「住み慣れた場所への安心できる早期退院」

認知症ケア介入患者数は年々増加傾向にあります。毎週2回の定期的な院内病棟ラウンドの実施、全スタッフへ研修会を実施し、スタッフ教育にも努めています。

急性期にある患者さんは、せん妄を発症しやすい状況にあります。2021年3月にDELTAプログラム(Delirium Team Approach program)を導入し、病棟と連携し、せん妄予防ケアと早期介入を多職種で取り組んでいます。

認知症ケアチーム 活動状況
介入患者数の年次推移(延べ人数)



専門性のあるチーム活動

主な活動内容として、3点を行っています。

 実践・助言 Action	<ul style="list-style-type: none"> ■ 身体拘束解除への取り組み ■ 意思決定支援 ■ せん妄、BPSDの要因分析 ■ 非薬物療法 ■ 抗精神病薬などの薬剤調整 ■ 社会資源の調整
 体制 System	<ul style="list-style-type: none"> ■ DELTAプログラムの推進 ■ ケアマニュアルの作成、更新
 教育 Education	<ul style="list-style-type: none"> ■ スタッフへの研修会開催 ■ OJT教育

認知症ケアチームより ご家族・医療福祉関係者の皆様へ

認知症ケアでは、ご家族や周囲の方々の気づきも大切な情報になります。日頃の生活状況や症状などについて、お尋ねする場合がございます。当院で医療・ケアを受けたいと思ってもらえる病院を目指し、貢献していきたいと思っております。よろしく願い致します。

地域とともに! 登録医紹介

当院の基本理念である「信頼と調和に基づく最良の医療～地域を尊重、世界を視野に」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。

音花クリニック

Q クリニックの診療内容・特色

福岡赤十字病院で長年呼吸器内科医として勤務したのち、2022年10月に中央区輝国に開院致しました。当院では外来診療、訪問診療、呼吸リハビリを中心とした外来・訪問リハビリを行っております。外来診療においては、長引く咳や息切れなど呼吸器の症状でお困りの方や、かかりつけ医として高血圧、高脂血症などの生活習慣病の管理や呼吸器疾患以外の内科疾患の診察、健康相談、予防接種などを行っています。訪問診療は人工呼吸器、酸素投与が必要な患者さんや、在宅での療養を希望されているがん患者さんまで幅広く診療を行っております。また福岡市内では数少ない呼吸リハビリを外来、訪問で行っており、周辺の病院と連携をとって診療を進めて参ります。

Q 地域の皆様へ一言

年齢や持病などにより外来通院が困難となる患者さんがおられます。当クリニックは患者さんにずっと寄り添って医療を提供することができるよう外来診療に加えて、訪問診療を行っております。クリニックの周囲はマンション建設など開発が進んでおり、来院される患者さんにはご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、地域の皆様が安心してより良い医療を受けることが出来る様クリニックのスタッフ一同努めて参ります。またより精密な検査が必要な場合や入院治療が必要な場合は福岡赤十字病院にご紹介して連携して診療を行なってまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



院長 河口 知允 先生
 住所 810-0032 福岡市中央区輝国2-24-29
 TEL 092-752-7557
 診療科目 内科・呼吸器内科・リハビリテーション科・在宅療養支援診療所(訪問診療)
 診療時間 9:00~12:30、15:30~18:30
 訪問診療 13:00~15:00
 休診日 木曜・土曜午後、日曜祝日
 ホームページ <https://otoka-clinic.jp/>

医療法人にゆうわ会 及川病院

Q クリニックの診療内容・特色

当院は、昭和44年に開院しました。開院時は、「整形外科」「外科」を中心に診療を行っていましたが、現院長の及川達司が院長に就任した際に今後の病院の在り方を検討する中で、乳がん患者が増えている現状を見て「自身の専門領域である乳腺外科を生かしたい」と考え、「地域に乳腺専門病院がない」ことから、平成16年より乳腺外科と緩和ケアに特化した診療体制を立ち上げました。直近の実績として、令和3年の原発乳癌手術数は275例を数えました。また医療だけではなく、病気で気が沈んでいる患者様へ少しでも心を癒してもらいたいとの思いから、周りをマンションに囲まれている病院ですが光庭や屋上テラスにささやかながら緑の空間を作り、小さな池にはメダカも泳いでいます。入院中の食事では、それが楽しみのひとつとなるよう、栄養のバランスは勿論、素材にこだわり器に陶器を使うなど、「美味しい」と言ってもらえるメニュー作りに努めています。

Q 地域の皆様へ一言

当院は、乳腺の専門機能を特化・充実させ、女性の患者さまの期待に応える環境を作り、この規模だからこそできるスピーディーで質の高い医療を提供するため、病院の全面改築・乳腺専門外来の完全独立、マンモグラフィ等専門医療機器の導入を行いました。医師・看護師・技師などの医療スタッフは、様々な臨床研究や学会に参加し、科学的な根拠に基づいた最新の医療の提供ができるよう日々能力の向上に努めています。また、社会貢献の一環として、乳がんの早期発見・治療を目的としたピンクリボン活動、「若い世代とがん」の今を世の中に発信していくAYA Week、緩和ケア普及啓発活動を主としたオレンジバレーンプロジェクトなどの活動にも全スタッフで積極的に取り組んでいます。



院長 及川 達司 先生
 住所 810-0014 福岡市中央区平尾2丁目21-16
 TEL 092-522-5411
 診療科目 乳腺外科・乳腺化学療法内科・乳腺心療内科
 乳腺リハビリテーション科・緩和ケア内科
 麻酔科・放射線科
 診療時間 平日 9:00~18:00
 土曜 9:00~17:00
 休診日 日曜・祭日(急患の方は時間外も受け付けます)
 ホームページ <http://www.oikawahp.or.jp/>